



## 平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 ビリングシステム株式会社

コード番号 3623 URL <http://www.billingjapan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 江田 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理本部長 (氏名) 住原 智彦

TEL 03-5501-4400

四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	365	3.4	43	△28.9	43	△28.4	13	△76.8
23年12月期第1四半期	353	22.8	61	80.1	61	79.5	57	55.7

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 15百万円 (△73.7%) 23年12月期第1四半期 59百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	894.12	—
23年12月期第1四半期	3,731.45	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、希薄化効果を有する株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	6,278	1,593	24.9
23年12月期	5,781	1,622	27.6

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 1,562百万円 23年12月期 1,593百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	799	17.1	114	10.9	112	11.9	60	△37.9	3,996.61
通期	1,621	18.5	238	16.0	234	17.6	136	△24.2	9,053.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期1Q	15,503 株	23年12月期	15,503 株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	475 株	23年12月期	475 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期1Q	15,028 株	23年12月期1Q	15,503 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や個人消費の回復に支えられた内需改善への期待に加え、円高の修正や株価上昇など企業収益の持ち直しも見込まれましたが、一方で、欧州債務問題の再燃や原油価格の高騰などの不安材料もあり依然として先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況の下、当社グループは、既存顧客へのサービスの深堀と新規顧客獲得のため、積極的な営業を展開してまいりました。

業績全般につきましてはクイック入金サービス、資金繰り支援サービスは堅調に推移しましたが、収納代行サービスが計画どおり推移しなかったため、売上高は若干、予算を下回る結果となりました。

費用につきましては、売掛債権の回収懸念に伴う貸倒引当金繰入額の計上、また当連結会計年度末に税務上の繰越欠損金が解消する見込みであることから繰延税金資産の一部取り崩しが発生しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高365,664千円（前年同四半期売上高353,660千円）、営業利益43,635千円（前年同四半期営業利益61,347千円）、経常利益43,756千円（前年同四半期経常利益61,080千円）、四半期純利益13,436千円（前年同四半期純利益57,848千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 決済支援事業

当事業は、インターネットを利用した株式の売買、為替・金融先物取引に付随する銀行口座、証券口座（証拠金口座）間の資金移動をリアルタイムでサポートするクイック入金サービス、通販事業者等、多数の集金が必要な企業へ各種の決済手段による収納情報をリアルタイムで一元管理する収納代行サービス及び複数取引先への一括送金業務をサポートする支払サポートサービスであります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は314,522千円（前年同四半期売上高305,467千円）、営業利益は53,173千円（前年同四半期営業利益46,610千円）となりました。

#### ② ファイナンス支援事業

当事業は、当社グループが提供している決済支援事業のサービスを利用して頂くことで蓄積される決済データに基づき、企業の回収期日と支払期日との間に生じる期間の差に対し、資金繰りの支援を行うサービスであります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は47,419千円（前年同四半期売上高44,209千円）、営業利益6,813千円（前年同四半期営業利益18,561千円）となりました。

#### ③ その他の事業

当事業は、環境ビジネスに関連するサービスと決済支援事業・ファイナンス支援事業に直接紐づかない事業コンサルティングサービスなどのサービスを「その他の事業」としてセグメントしております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は3,722千円（前年同四半期売上高3,982千円）、営業損失15,011千円（前年同四半期営業損失1,270千円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は6,278,287千円（前連結会計年度末5,781,124千円）となり497,162千円増加いたしました。その主な増減は、現金及び預金884,598千円の増加、買取債権418,446千円の減少であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は4,684,842千円（前連結会計年度末4,158,260千円）となり526,581千円増加いたしました。その主な増減は、預り金673,572千円の増加、未払金82,857千円の減少であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は1,593,445千円（前連結会計年度末1,622,864千円）となり29,419千円減少いたしました。その主な増減は、四半期純利益13,436千円を計上した一方、剰余金の配当45,084千円を実施したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は売上高につきましては、概ね計画の範囲内で推移しております。一方、ファイナンス支援事業における売掛債権に回収懸念が生じたため、貸倒引当金繰入額を計上した結果、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては当初の計画を下回っております。

当社グループとしましては安定的な収益源である、決済支援事業の売上増に努めると共に、業務のIT投資化等による費用のより一層の削減に取り組み、収益性を向上させてまいります。

以上により、平成24年2月14日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想は据え置くことといたします。

なお、今後の業績推移に応じて修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,648,346	4,532,944
売掛金(純額)	510,179	513,928
買取債権	1,138,032	719,586
商品	49,901	45,830
仕掛品	2,088	1,340
その他	268,295	260,817
流動資産合計	5,616,844	6,074,448
固定資産		
有形固定資産	19,432	18,283
無形固定資産		
のれん	13,478	12,355
その他	45,491	43,671
無形固定資産合計	58,970	56,027
投資その他の資産	85,877	129,528
固定資産合計	164,280	203,839
資産合計	5,781,124	6,278,287
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	47,642	42,902
短期借入金	572,000	483,000
1年内返済予定の長期借入金	30,000	49,800
未払金	427,592	344,735
未払法人税等	13,094	4,179
預り金	2,913,782	3,587,355
賞与引当金	—	1,737
その他	37,801	13,726
流動負債合計	4,041,913	4,527,436
固定負債		
長期借入金	112,500	153,600
資産除去債務	2,966	2,978
その他	880	828
固定負債合計	116,346	157,406
負債合計	4,158,260	4,684,842
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,154,088	1,154,088
利益剰余金	488,286	456,639
自己株式	△48,720	△48,720
株主資本合計	1,593,654	1,562,007
少数株主持分	29,210	31,438
純資産合計	1,622,864	1,593,445
負債純資産合計	5,781,124	6,278,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	353,660	365,664
売上原価	204,681	212,105
売上総利益	148,978	153,558
販売費及び一般管理費	87,630	109,922
営業利益	61,347	43,635
営業外収益		
受取利息	532	535
投資有価証券売却益	500	—
貸倒引当金戻入額	—	178
その他	121	164
営業外収益合計	1,153	878
営業外費用		
支払利息	1,421	757
その他	0	0
営業外費用合計	1,421	757
経常利益	61,080	43,756
特別利益		
固定資産売却益	36	—
特別利益合計	36	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	88	—
特別損失合計	88	—
税金等調整前四半期純利益	61,028	43,756
法人税、住民税及び事業税	3,740	3,121
法人税等調整額	△2,254	24,970
法人税等合計	1,485	28,091
少数株主損益調整前四半期純利益	59,542	15,664
少数株主利益	1,693	2,227
四半期純利益	57,848	13,436

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	59,542	15,664
四半期包括利益	59,542	15,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,848	13,436
少数株主に係る四半期包括利益	1,693	2,227



(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	決済支援 事業	ファイナン ス支援事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	305,467	44,209	349,677	3,982	353,660	—	353,660
セグメント間の内部 売上高又は振替高	70,555	—	70,555	—	70,555	70,555	—
計	376,023	44,209	420,233	3,982	424,215	70,555	353,660
セグメント利益又は 損失(△)	46,610	18,561	65,172	△1,270	63,901	△2,553	61,347

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境ビジネスに関連するサービス、事業コンサルティングサービス等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△2,553千円には、のれんの償却額△1,123千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,430千円であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	決済支援 事業	ファイナン ス支援事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	314,522	47,419	361,942	3,722	365,664	—	365,664
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	314,522	47,419	361,942	3,722	365,664	—	365,664
セグメント利益又は 損失(△)	53,173	6,813	59,987	△15,011	44,976	△1,340	43,635

- (注) 1. 「その他」の区分は、環境ビジネスに関連するサービス、事業コンサルティングサービス等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,340千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。